

仕様書

テレビスタジオ残時間計システムの更新

1. 目的

放送大学学園番組テレビスタジオで運用中の残時間計システムの更新と関連工事一式に関する契約条項及び仕様を定めるものである。

2. 設備更新の名称及び設置場所

(1)名称等

残時間計システム

(2)設置場所

放送大学学園 制作棟 ブルースタジオ

3. 完了期限

平成28年3月31日(木)

(装置の機能、性能確認、検収を含む)

4. 契約範囲

請負者は、本仕様書及び関連規格等に定める規定に準拠し、以下の製作及び工事等を完全に遂行しなければならない。

(1)残時間計システム機器の調達

新たに設計、施工またはオリジナル製品の改修を施し、放送大学学園仕様に適合すること

(2)システム構成

機器ラック室の制御部本体と副調整室PD卓操作リモート制御パネルの構成

(3)制御部本体は最大3U、操作リモート制御パネルは最大2Uサイズに収めること

(4)既存システム、機器との結合調整

別途インサーターが必要であれば別途調達すること

(5)総合動作試験及び調整(位置、文字大小、フォント等含む)

(6)旧機器の撤去・廃棄

(7)完成図書の提出

(8)その他、関連する工事

5. ハイビジョン残時間計システム仕様

HD-SDI入/出力で、残時間計システムを通してレベル変動、映像劣化、位相変化等が全く無いこと

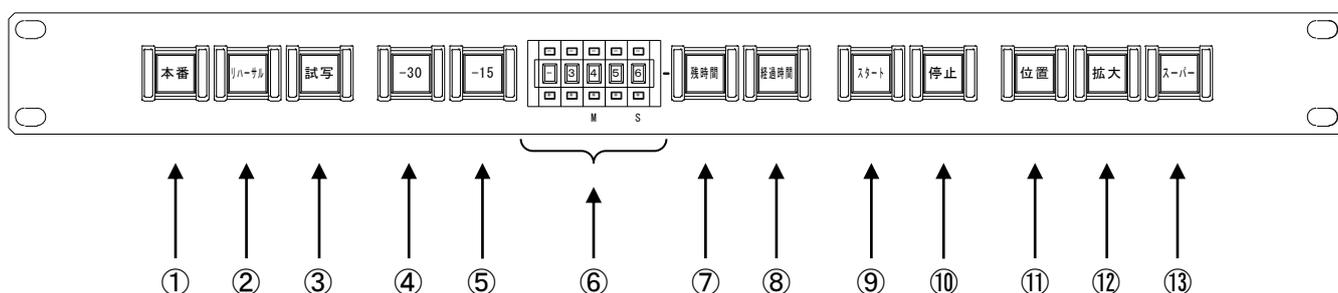
(1)システム構成

- ・標準19インチラック収納サイズ(最大 3U)の制御部とリモートパネル操作部(最大 2U)から構成
- ・制御部とリモート操作部は、最大30m の制御ケーブルで接続、正常動作すること

(2)画面表示

- ・HD-SDI信号を入力しシステム内インサーターで時間スーパーした映像を出力すること
- 設計またはオリジナル改修上、外部インサーターが必要な場合、機器名を追加すること
- ・時間スーパー位置は、セーフティゾーン95%の左上を原則とする

(3)リモート操作部のイメージ例



① 本番 ボタン	:ボタンを押すことで本番収録モードを設定 :編集機からの録画タリーで残/経過時間計が起動
② リハーサル ボタン	:ボタンを押すことでリハーサルモードを設定 :手動スタートボタンで残/経過時間計が起動 :録画タリーをインヒビット
③ 試写 ボタン	:ボタンを押すことで収録終了時の試写モードを設定 :完成番組の試写時、再生号機のタイムコードを表示
④ -30 ボタン ⑤ -15 ボタン	:本番またはリハーサル時に -30/-15 秒にカウントダウン時間を設定 位置 : 画面中央 サイズ:任意設定可能 ⑨ の スタート ボタンを押すと、次の動作になる 30/-15 秒 からカウントダウン動作開始 ↓ 30/15 秒 経過 ⑥ の時間設定スイッチで設定した残/経過時間 (例 残期間 1分 45 秒)に自動的に設定

	<p>↓ 1分45秒 経過 0秒 ↓ 残/経過時間のカウント動作を継続 *-30/-15 ボタンを押し、カウントダウン0になるまで、録画 タリーで残時間/経過時間の起動はしない</p>
⑥ 残時間設定スイッチ	:残/経過時間設定用のスイッチ、分/秒の4桁表示設定で 時間スーパー表示、最大99分59秒まで設定可能
⑦ 残時間 ボタン	:⑥のスイッチで設定した残時間を表示 :⑨のスタート ボタンを押すと、シーケンス動作(カウント ダウン)の無い時間表示
⑧ 経過時間 ボタン	:ボタンを押すことで経過時間を表示 ⑦ボタンを押すと⑥の残時間設定時間表示からの残時 間を表示
⑨ スタート ボタン	:カウント動作をスタート
⑩ 停止 ボタン	:カウント動作を停止
⑪ 位置 ボタン	:カウント表示の位置を変更し、文字を小さくする
⑫ 拡大 ボタン	:カウント表示の位置を画面中央に変更、文字を大きくする
⑬ スーパー ボタン	:ハイビジョン入力映像に時間表示のスーパーON / OFF を設定

※本番/リハーサル/試写ボタンは、後押し優先

例1:試写中(タイムコード表示)にリハーサルボタンを押すと⑥で設定している時間表示に変わる

例2:本番中(残時間表示)にリハーサルボタンを押すとタイムコード表示に変わる

(4)制御部イメージ

- ・シーケンスカウント動作に対応し、副調整室PD卓のリモートパネルからリモート操作が可能
- ・シーケンス動作時は、初回シーケンス時の「表示文字サイズ」、「位置」を自動的に変更が可能
(予め任意値設定)

- ・シーケンス動作時の初回シーケンス時間は「-30 秒」と「-15 秒」の 2 種類設定が可能
(予め任意値設定)
- ・残時間表示と経過時間表示をリモート制御で切り換えが可能
- ・“本番”モード時は、リモートパネルに入力した録画タリ-信号によって、本体のカウントスタート制御を行う
- ・“リハーサル”モード時は、リモートパネルに入力した録画タリ-信号による本体制御部のカウントスタート制御を禁止
- ・“試写”モード時は、制御部本体に入力したタイムコード(LTC)信号の時刻データを表示

⑧制御部の動作

- ・シーケンス動作 あり

リモートパネルの “ -30 ” / “ -15 ” ボタンを押し、-30 秒/-15 秒を設定した後、
“ スタート ” ボタンでカウント動作を開始するとシーケンス動作を開始

リモートパネル の 操作	本体制御部の動作
“ -30 ” / “ -15 ” ボタンを押し、カウント時間を セット	-00:30 または -00:15 に 設定される 表示文字は次の状態 位置 : 画面中央 サイズ : 設定した任意の文字サイズ
“ スタート ” ボタンを押す	-00:30 または -00:15 からカウント動作がスタート 表示文字は次の状態を継続 位置 : 画面中央 サイズ : 設定した任意の文字サイズ ↓ 00:00 になると同時に、自動的に時間設定スイッチで設定し た残時間 (例 45:00) に再セットされ、カウント動作継続 表示文字は本体で設定している、位置 / サイズ ↓ 45:00 からカウント動作(減算) ↓ 00:00 になると、カウント動作は継続しアップカウント動作

- ・シーケンス動作 無し

リモートパネルの “ 残時間 ” ボタンを押し、残時間を設定した後、
“ スタート ” ボタンでカウント動作を開始するとシーケンス動作なし

リモートパネル の 操作	本体制御部の動作
“ 残時間 ” ボタンを押し、残時間をセット	時間設定スイッチで設定した残時間が表示 表示文字は本体で設定している、位置 / サイズ
“ スタート ” ボタンを押す	カウント動作(減算)がスタート 表示文字は本体で設定している、位置 / サイズ を継続 ↓ 00:00 になると、カウント動作は継続しアップカウント動作

(5)入・出力コネクタ

- ・映像入力 SDI×1、スルー出力×1
- ・映像出力 SDI×2
- ・LTCタイムコード 入力×1、スルー出力×1
- ・録画タリール入力×1

6. 入札、技術的仕様書等に関する留意事項

- (1)入札業者は、他の放送事業者や放送大学学園で副調整室等の工事実績があること。
- (2)納入工程は、放送大学学園担当者と協議すること。
- (3)入札時の提案書については、ブロック図、要件適合等が分かる資料を添えること。

7. 説明会の実施

- (1)設置終了後、操作説明会を実施すること。
- (2)日程・回数は別途協議すること。

8. 保証等

請負者は本仕様書に定める装置の性能を、本運用開始後 1 年間無償保証するものとする。
本運用の時期は別途定める。

9. 障害対応

- (1)通常使用状態において、装置の故障、損傷等の不具合が発生した場合は、直ちに対応すること。
- (2)保障期間満了後であっても、設計・製作上の欠陥と推定される場合は、放送大学学園担当者と請負者とが協議のうえ、原因が請負者にあることが明らかになったときは、無償で修理、改修等を実施すること。